

幼児期の 学びの芽生え

「思いを込めてクジャクをえがく」～心を動かす手立ては丁寧に～
—絵画表現ができる環境(素材や用具の種類・量)を整え、子どもの表現は思いのままに—
5歳児 11月

ねらい

クジャク博士の話や動物園でクジャクを見た経験から、心を動かし、思いを込めてクジャクをえがく

発達・教師の援助 環境構成のポイント

- ・京都市動物園に下見に出かけ、5歳児担任はクジャクと出会い、クジャクの面白さと魅力を感じ、子どもたちがより興味をもつようにクジャクの魅力を伝えた。
- ・クジャクへの興味・関心をもてるように、園外保育当日に、クジャク博士(動物園の講師)にクジャクについての話や、子どもたちの質問に答えていただくことをお願いした。

実践内容

社会生活との関わり

<園外保育当日>



雄のクジャクの
羽ってきれいだね



後日、クジャク博士
から手紙が届く



羽はキラキラ
してるね!

自然との関わり・生命尊重

クジャク博士は「どうして雄のクジャクだけ羽が綺麗なのか?」という子どもの質問に「答えた内容が、子どもたちの心に届いていないのかも…」と感じ、後日、子どもたちにわかりやすい内容で、質問に対する答えを新たに手紙で送ってくださった。その内容は「もしも雌の羽が雄のように派手だったら、卵を温めている時にすぐに敵に見つかり、卵を狙われてしまう。だから雌は地味な羽で卵を温めている。そして、雄は敵が現れた時には、あのかわいい羽をバツと広げて、敵から雌クジャクと卵を守るんだよ」ということだった。この話が子どもたちの心に響いた様子だったので、その思いを絵画で表現する活動につなげた。

<思いを込めてクジャクをえがく> ～夢中、没頭、思いのままに自らと対話する子どもの姿

自立心



色々な道具(絵具、コンテ、大小様々な筆、割りばし、色々な形や大きさの型押し、棒、ローラー、スポンジ等)を主体的に自分で選んで、絵の具でかくよ!

思考力の芽生え



雄のクジャクの羽は目玉模様が
いっぱいついていてかっこいいんだ!
そして、敵から雌クジャクと卵を守るんだ!

豊かな感性と表現



ぼくは、手に絵の具を付けて
フワフワの羽をかいてみたい!

保育を振り返って 1年生につながるもの：心が動く豊かな感性、生き物への愛着心、自由な表現

クジャク博士から届いた手紙が子どもたちの心に響いたからこそ、「卵と雌クジャクを敵から守る、かっこいい雄のクジャクをかきたい!」という思いを込めて、絵具やコンテ、色々な道具や筆、手などを使って自分なりの方法で自由に表現する姿が見られた。子どもたちの心が動くことで、その思いを子どもたちなりに自由に表現する大切さを教師自身も学ぶことができた。その根底には、日頃から、細心の注意を込めて、子どもたちが「主体的・意欲的」に活動できる場の設定、素材や材料、用具の豊富さや使いやすさを考慮した環境構成が大切であることを改めて実感した。